

平成 25 年度奨学金の延滞者に関する属性調査 結果の概要

独立行政法人日本学生支援機構

I 調査目的等

1 目的

奨学金の延滞者の属性を把握し、今後の奨学金回収方策に役立てることとする。

2 調査対象

- (1)平成 25 年 10 月末において、奨学金返還を 3 ヶ月以上延滞している者（以下「延滞者」という。）
- (2)平成 25 年 10 月末において、奨学金返還を延滞していない者（以下「無延滞者」という。）

3 調査方法

- 延滞者 : 延滞年数および性別で層化し、無作為抽出
- 無延滞者 : 学種および性別で層化し、無作為抽出

4 調査時期

平成 25 年 12 月

5 調査数

	抽出件数	回答件数	回答率	参考母数(平成 25 年度末)
延滞者	19,573 件	4,139 件	21.1%	187,374 件
無延滞者	9,721 件	2,522 件	25.9%	3,090,023 件

(注意)

- 1 各表は無回答・不明を除いた比率で集計している。
 - 2 単位は人・%である。
 - 3 四捨五入をした数を使用しているため、内訳の数の合計が合計欄の数と一致しない場合がある。
 - 4 複数回答可の設問に関する表の各回答の割合は合計しても 100%にならない。
- ※各回答の割合は回答者数に対する割合である。

(参考) 平成 25 年度末現在の状況

①返還を要する者の債権（期日到来分のみ。）	3,424 千件
②返還している者	3,090 千人
③1 日以上の延滞債権	334 千件
④3 ヶ月以上の延滞債権	187 千件

1 回答者

(1)回答者について（択一）

延滞者、無延滞者ともに「奨学生本人」が回答している割合が高い。また、無延滞者の方がその割合が高い。

表 1-1 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,711	65.9%	1,926	76.4%
父母	1,284	31.2%	576	22.8%
兄弟	15	0.4%	3	0.1%
祖父母	9	0.2%	1	0.0%
おじ・おば	0	0.0%	0	0.0%
配偶者	90	2.2%	15	0.6%
その他	3	0.1%	0	0.0%
計	4,112	100.0%	2,521	100.0%
無回答	27		1	

(2)奨学金申請時の書類作成者（択一）

延滞者では「親（または祖父母等の家族）」と回答した者の割合が高いが、無延滞者では「奨学生本人」と回答した者の割合が高い。

表 1-2 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	1,308	32.7%	1,286	51.4%
親(または祖父母等の家族)	1,485	37.1%	522	20.9%
本人と親等	845	21.1%	641	25.6%
わからない	345	8.6%	49	2.0%
その他	22	0.5%	2	0.1%
計	4,005	100.0%	2,500	100.0%
無回答	134		22	

(3)奨学金の申請を勧められたか（択一）

延滞者、無延滞者ともに「勧められた」と回答した者の割合が最も高く、次いで延滞者では「わからない」と回答した者、無延滞者では「勧められなかった」と回答した者の割合が高い。

表 1-3 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
勧められた	2,522	63.7%	1,584	63.6%
勧められなかった	663	16.7%	684	27.5%
わからない	775	19.6%	221	8.9%
計	3,960	100.0%	2,489	100.0%
無回答	179		33	

(4)だれに奨学金の申請を勧められたか（択一）

(3)で奨学金の申請を「勧められた」と回答した者に質問した。

延滞者、無延滞者ともに「親（または祖父母等の家族、親戚）」と回答した者の割合が最も高いが、無延滞者の方がその割合が高い。

表 1-4

(単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
親(または祖父母等の家族、親戚)	1,464	58.1%	1,330	84.1%
学校の先生や職員	881	35.0%	202	12.8%
友人・知人	148	5.9%	47	3.0%
その他	26	1.0%	3	0.2%
計	2,519	100.0%	1,582	100.0%
無回答	3		2	

(5)返還義務をいつ知ったか（択一）

延滞者、無延滞者ともに「貸与手続きを行う前」と回答した者の割合が最も高いが、その割合は無延滞者の方が高い。

表 1-5

(単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
貸与手続きを行う前	2,243	56.1%	2,319	92.5%
貸与手続中	410	10.2%	98	3.9%
貸与中	211	5.3%	33	1.3%
貸与終了時	129	3.2%	12	0.5%
貸与終了後～返還開始前	181	4.5%	16	0.6%
返還開始～督促前	164	4.1%	6	0.2%
延滞督促を受けてから	377	9.4%	4	0.2%
わからない	251	6.3%	17	0.7%
その他	35	0.9%	3	0.1%
計	4,001	100.0%	2,508	100.0%
無回答	138		14	

2 主な返還者について

(1)主な返還者（択一）

延滞者、無延滞者ともに「奨学生本人」と回答した者の割合が最も高いが、その割合は無延滞者の方が高い。

表 2-1

(単位:人・%)

区分	25年度				(参考)24年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,629	65.1%	2,110	84.1%	2,437	64.5%	2,066	84.8%
父母	1,243	30.8%	326	13.0%	1,204	31.9%	318	13.1%
兄弟	13	0.3%	3	0.1%	9	0.2%	0	0.0%
祖父母	8	0.2%	2	0.1%	7	0.2%	1	0.0%
おじ・おば	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
配偶者	93	2.3%	67	2.7%	86	2.3%	38	1.6%
その他	50	1.2%	2	0.1%	36	1.0%	12	0.5%
計	4,036	100.0%	2,510	100.0%	3,779	100.0%	2,435	100.0%
無回答	103		12		94		42	

(2)主な返還者と回答者との関係

延滞者では回答者が主な返還者である割合が高い。

無延滞者では、回答者に関わらず奨学生本人が主な返還者である割合が高い。

表 2-2-1（延滞者）

(単位:人・%)

回答者 主な返還者	奨学生本人		父母		兄弟		祖父母		おじ・おば		配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,305	86.5%	253	20.5%	3	20.0%	0	0.0%	0	0	56	62.9%	2	66.7%	2,619	65.3%
父母	247	9.3%	969	78.5%	3	20.0%	4	66.7%	0	0	6	6.7%	1	33.3%	1,230	30.7%
兄弟	5	0.2%	1	0.1%	7	46.7%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	13	0.3%
祖父母	4	0.2%	2	0.2%	0	0.0%	2	33.3%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	8	0.2%
おじ・おば	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
配偶者	66	2.5%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	26	29.2%	0	0.0%	93	2.3%
その他	39	1.5%	8	0.6%	2	13.3%	0	0.0%	0	0	1	1.1%	0	0.0%	50	1.2%
計	2,666	100.0%	1,234	100.0%	15	100.0%	6	100.0%	0	0	89	100.0%	3	100.0%	4,013	100.0%

表 2-2-2（無延滞者）

(単位:人・%)

回答者 主な返還者	奨学生本人		父母		兄弟		祖父母		おじ・おば		配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	1,767	92.0%	325	57.1%	2	66.7%	1	100.0%	0	0	14	93.3%	0	0	2,109	84.1%
父母	86	4.5%	239	42.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	326	13.0%
兄弟	2	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	3	0.1%
祖父母	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	2	0.1%
おじ・おば	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
配偶者	65	3.4%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	1	6.7%	0	0	67	2.7%
その他	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	2	0.1%
計	1,921	100.0%	569	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	0	0	15	100.0%	0	0	2,509	100.0%

3 本人の職業について

本人の職業（択一）

無延滞者は延滞者に比べて「常勤社（職）員」と回答した者の割合が高い。延滞者は「非常勤社（職）員」「派遣社員」「無職・失業中/休職中」と回答した者の割合が無延滞者よりも高い。

表 3

(単位:人・%)

区分	25年度				(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	1,475	36.2%	1,708	67.9%	1,342	35.6%	1,594	64.5%	1,410	34.5%	639	57.5%
任期付常勤社(職)員	343	8.4%	141	5.6%	247	6.6%	166	6.7%	256	6.3%	61	5.5%
非常勤社(職)員	598	14.7%	187	7.4%	568	15.1%	207	8.4%	542	13.3%	85	7.7%
派遣社員	269	6.6%	74	2.9%	253	6.7%	52	2.1%	306	7.5%	33	3.0%
自営/家業	273	6.7%	63	2.5%	229	6.1%	70	2.8%	211	5.2%	24	2.2%
学生(留学を含む)	30	0.7%	31	1.2%	35	0.9%	100	4.0%	48	1.2%	90	8.1%
専業主婦(夫)	311	7.6%	153	6.1%	269	7.1%	127	5.1%	328	8.0%	82	7.4%
無職・失業中/休職中	642	15.8%	134	5.3%	686	18.2%	136	5.5%	774	18.9%	71	6.4%
その他	132	3.2%	23	0.9%	141	3.7%	20	0.8%	212	5.2%	26	2.3%
計	4,073	100.0%	2,514	100.0%	3,770	100.0%	2,472	100.0%	4,087	100.0%	1,111	100.0%
無回答	66		8		103		5					

4 本人の年収について

本人の年収（択一）

今回の調査から、400 万円以上の選択肢を増やした。

延滞者と無延滞者を比較すると、延滞者では「100 万～200 万円未満」と回答した者の割合が最も高いのに対して、無延滞者では「200 万～300 万円未満」と回答した者の割合が高い。全体的に延滞者より無延滞者の収入が多い。

表 4

(単位:人・%)

区分	25年度				(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	592	15.1%	167	6.7%	668	18.0%	201	8.2%	743	18.5%	129	11.7%
1円～100万円未満	754	19.3%	232	9.3%	720	19.4%	227	9.3%	841	20.9%	151	13.7%
100万～200万円未満	937	24.0%	382	15.4%	949	25.6%	390	16.0%	954	23.7%	189	17.2%
200万～300万円未満	852	21.8%	636	25.6%	741	20.0%	647	26.5%	817	20.3%	262	23.8%
300万～400万円未満	430	11.0%	486	19.6%	376	10.1%	449	18.4%	414	10.3%	185	16.8%
400万～500万円未満	198	5.1%	287	11.6%	252	6.8%	529	21.7%	255	6.3%	184	16.7%
500万～600万円未満	82	2.1%	127	5.1%								
600万～700万円未満	34	0.9%	67	2.7%								
700万～800万円未満	15	0.4%	40	1.6%								
800万～900万円未満	5	0.1%	13	0.5%								
900万～1000万円未満	9	0.2%	12	0.5%	3,706	100.0%	2,443	100.0%	4,024	100.0%	1,100	100.0%
1000万円以上	4	0.1%	34	1.4%								
計	3,912	100.0%	2,483	100.0%	3,706	100.0%	2,443	100.0%	4,024	100.0%	1,100	100.0%
無回答	227		39		167		34					

5 延滞の理由と今後の返還の見通しについて（延滞者のみ）

(1)延滞が始まった理由（きっかけ）（2つまで選択）

近年の調査では共通して「家計の収入が減った」と回答した者の割合が最も高く、次いで「家計の支出が増えた」と回答した者の割合が高い。

表 5-1

(単位:人・%)

区分	延滞者					
	25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	332	8.2%	366	9.6%	406	9.9%
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	295	7.3%	370	9.7%	341	8.3%
家計の収入が減った	2,948	72.9%	2,945	77.0%	3,095	75.3%
家計の支出が増えた	1,397	34.5%	1,503	39.3%	1,595	38.8%
入院、事故、災害等にあったため	732	18.1%	765	20.0%	729	17.7%
返還するものだとは思っていなかった	110	2.7%	138	3.6%	85	2.1%
その他	1,146	28.3%	264	6.9%	499	12.1%
回答者数	4,046	—	3,823	—	4,111	—
無回答	93	—	50	—		

(2)延滞が継続している理由（2つまで選択）

「本人の低所得」と回答した者の割合が最も高く、次いで「奨学金の延滞額の増加」と回答した者の割合が高い。

また、今回の調査から「親の経済困難」を2種類に分割したところ、親が奨学金を返還する約束をしている場合が多いことが判明した。

表 5-2

(単位:人・%)

区分	延滞者					
	25年度		24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	2,049	51.1%	1,797	47.5%	1,982	49.3%
本人が失業中(無職)	605	15.1%	699	18.5%	769	19.1%
本人が学生(留学を含む)	30	0.7%	39	1.0%	45	1.1%
本人が病気療養中	212	5.3%	249	6.6%	249	6.2%
本人の借入金の返済	796	19.8%	818	21.6%	788	19.6%
親の経済困難(本人が親への経済援助をしており支出が多い)	758	18.9%	1,317	34.8%	1,425	35.5%
親の経済困難(本人親が返還する約束)	710	17.7%				
配偶者の経済困難	218	5.4%	218	5.8%	198	4.9%
家族の病気療養	230	5.7%	277	7.3%	316	7.9%
忙しい(金融機関に行けない等)	139	3.5%	156	4.1%	155	3.9%
奨学金の延滞額の増加	1,201	29.9%	1,218	32.2%	1,149	28.6%
返還するものだとは思っていない	19	0.5%	12	0.3%	9	0.2%
その他	262	6.5%	69	1.8%	153	3.8%
回答者数	4,013	—	3,786	—	4,017	—
無回答	126	—	87	—		

(3)今後の返還の見通し（択一）

「現在における返還の見通し」、「2～3年から数年以上経過した時点における返還の見通し」のいずれについても、「決められた月額等を返還できる」と回答した者の割合が最も高い。

年収が多くなるにつれて、「決められた月額を返還できると思う」と回答する者が多くなっている。

表 5-3-1（現在における返還の見通し）

（単位：人・％）

区分	延滞者					
	25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できと思う	1,292	32.6%	1,163	31.2%	1,228	30.3%
決められた月額等の半額程度より多く返還できと思う	330	8.3%	306	8.2%	2,035	50.2%
決められた月額等の半額程度返還できと思う	698	17.6%	693	18.6%		
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できと思う	976	24.6%	896	24.0%		
返還できないと思う	291	7.3%	290	7.8%	412	10.2%
わからない	382	9.6%	383	10.3%	379	9.3%
計	3,969	100.0%	3,731	100.0%	4,054	100.0%
無回答	170		142			

表 5-3-2（2～3年から数年以上経過した時点における返還の見通し）

（単位：人・％）

区分	延滞者					
	25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できと思う	1,525	39.8%	1,549	42.6%	1,714	43.4%
決められた月額等の半額程度より多く返還できと思う	411	10.7%	379	10.4%	1,328	33.6%
決められた月額等の半額程度返還できと思う	437	11.4%	396	10.9%		
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できと思う	463	12.1%	449	12.3%		
返還できないと思う	99	2.6%	68	1.9%	78	2.0%
わからない	892	23.3%	799	22.0%	830	21.0%
計	3,827	100.0%	3,640	100.0%	3,950	100.0%
無回答	312		233			

6 返還期限の猶予制度について

(1) 猶予制度の認知状況

猶予制度に関しては、請求書を送付する都度、案内資料を同封するほか、振替不能通知にも記載している。

また、「返還のてびき」や返還説明会の説明事項にも含めている。

延滞状況による大きな差は見られない。

表 6-1 (猶予制度の認知状況)

(単位:人・%)

区分	25年度				(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
猶予制度を「知っている」	1,873	46.4%	1,159	46.2%	1,632	42.9%	1,164	47.0%	1,772	43.3%	490	43.9%
猶予制度を「知らなかった」	2,161	53.6%	1,349	53.8%	2,169	57.1%	1,310	53.0%	2,316	56.7%	626	56.1%
計	4,034	100.0%	2,508	100.0%	3,801	100.0%	2,474	100.0%	4,088	100.0%	1,116	100.0%
無回答	105		14		72		3					

(2) 猶予制度の申請状況 (択一)

(1)で猶予制度を「知っている」と回答した者に質問した。

「過去に申請したことがあるが、今は申請していない」と回答した者の割合が最も高い。

表 6-2 (延滞者)

(単位:人・%)

区分	25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現在、申請している	198	11.6%	192	12.7%	240	13.9%
申請の準備または検討をしている(書類不備で返送されて再提出準備中を含む)	146	8.6%	176	11.6%	186	10.8%
過去に申請したことがあるが、今は申請していない	835	48.9%	706	46.6%	739	42.8%
一度も利用したことがない	437	25.6%	396	26.1%	445	25.8%
その他	91	5.3%	46	3.0%	115	6.7%
計	1,707	100.0%	1,516	100.0%	1,725	100.0%
無回答	166		116			

(3) 猶予申請しない理由 (択一)

延滞者で(1)で猶予制度を「知っている」と回答した者のうち、(2)で猶予制度を「過去に申請したことがあるが、今は申請していない」と回答した者に質問した。

「すでに猶予期間(通算 60 ヶ月)を利用してしまったので、利用できないため」が最も多い。

表 6-3 (「過去に申請したことがあるが、今は申請していない」理由/延滞者)

(単位:人・%)

区分	25年度	
	人数	割合
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	143	18.6%
延滞期間にかかる証明書の取得が困難なため	53	6.9%
すでに猶予期間(通算60ヶ月)を利用してしまったので、利用できないため	316	41.1%
猶予申請しないで返還予定のため	81	10.5%
猶予申請手続きが難しいため	43	5.6%
手続きがよくわからない、よく知らないため	60	7.8%
その他	72	9.4%
計	768	100.0%
無回答	67	

(4)猶予申請しない理由（択一）

延滞者で(1)で猶予制度を「知っている」と回答した者のうち、(2)で猶予制度を「一度も利用したことがない」と回答した者に質問した。

「手続きがよくわからない、よく知らないため」と回答した者の割合が最も高く、次いで「猶予申請しないで返還予定のため」と回答した者の割合が高い。

表 6-4（「一度も利用したことがない」理由/延滞者）

(単位:人・%)

区分	25年度	
	人数	割合
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	78	21.1%
延滞期間にかかる証明書の取得が困難なため	21	5.7%
すでに猶予期間(通算60ヶ月)を利用してしまったため	10	2.7%
猶予申請しないで返還予定のため	82	22.2%
猶予申請手続きが難しいため	25	6.8%
手続きがよくわからない、よく知らないため	121	32.7%
その他	33	8.9%
計	370	100.0%
無回答	67	

(5)猶予制度の猶予期間の長さ（通算 60 ヶ月）について（択一）

延滞者で猶予制度を「知っている」と回答した者に質問した。

「どちらともいえない」と回答した者の割合が最も高く、次いで「短い」と回答した者の割合が高かった。

また、「十分」と「どちらかといえば十分」の合計（11.5%）は「短い」と「どちらかといえば短い」の合計（42.0%）より少ない。

表 6-5

(単位:人・%)

区分	25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
短い	510	28.5%	412	26.2%	429	25.2%
どちらかといえば短い	242	13.5%	208	13.2%	241	14.2%
どちらともいえない	832	46.5%	711	45.2%	750	44.0%
どちらかといえば十分	121	6.8%	138	8.8%	170	10.0%
十分	85	4.7%	104	6.6%	113	6.6%
計	1,790	100.0%	1,573	100.0%	1,703	100.0%
無回答	83		59			

7 無延滞者のこれまでの返還状況

(1)延滞経験の有無（択一）

無延滞者に過去に延滞の経験があるかどうか質問した。

表 7-1

(単位:人・%)

区分	25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
延滞したことがない	1,901	76.1%	1,819	74.3%	836	76.5%
延滞したことがある	469	18.8%	491	20.0%	200	18.3%
わからない	129	5.2%	139	5.7%	57	5.2%
計	2,499	100.0%	2,449	100.0%	1,093	100.0%
無回答	23		28			

(2)延滞になったことを知ったきっかけ（あてはまるものを全て選択）

(1)で「延滞したことがある」と回答した者に、延滞になったことを知ったきっかけを質問した。

「機構（旧日本育英会）からの振替不能（延滞）通知」と回答した者の割合が最も高く、次いで「口座残高を確認して」と回答した者の割合が高い。

表 7-2

(単位:人・%)

区分	25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
機構(旧日本育英会)からの振替不能(延滞)通知	359	79.2%	361	76.8%	144	72.0%
機構(旧日本育英会)からの電話	136	30.0%	172	36.6%	50	25.0%
連帯保証人・保証人からの連絡	39	8.6%	29	6.2%	14	7.0%
口座残高を確認して	144	31.8%	140	29.8%	43	21.5%
親・家族等からの連絡	51	11.3%	44	9.4%	16	8.0%
債権回収会社(サービサー)からの連絡	53	11.7%	42	8.9%	20	10.0%
その他	8	1.8%	5	1.1%	4	2.0%
回答者数	453	—	470	—	200	—

(3)延滞の解消方法（あてはまるものを全て選択）

「延滞したことがある」と回答した者に、延滞を解消した方法を質問した。

「本人が延滞額を支払った（口座振替を含む）」と回答した者の割合が最も高い。

表 7-3

(単位:人・%)

区分	25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が延滞額を支払った(口座振替を含む)	386	85.2%	372	78.6%	145	77.5%
本人以外が支払った(口座振替を含む)	64	14.1%	87	18.4%	35	18.7%
猶予願が承認された	29	6.4%	39	8.2%	26	13.9%
その他	6	1.3%	6	1.3%	3	1.6%
回答者数	453	—	473	—	187	—

8 日本学生支援機構の奨学金制度の認知状況

減額返還制度の認知状況（択一）

延滞者、無延滞者ともに「知らない」と回答した者の割合が最も高い。

表 8

(単位:人・%)

区分	25年度				(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	173	4.3%	104	4.1%	156	4.1%	133	5.4%	169	4.2%	43	3.9%
だいたい知っている	700	17.4%	750	29.9%	587	15.6%	718	29.2%	581	14.3%	282	25.5%
あまり知らない	962	23.9%	659	26.3%	958	25.4%	615	25.0%	1,023	25.2%	303	27.3%
知らない	2,193	54.4%	994	39.6%	2,065	54.8%	995	40.4%	2,283	56.3%	480	43.3%
計	4,028	100.0%	2,507	100.0%	3,766	100.0%	2,461	100.0%	4,056	100.0%	1,108	100.0%
無回答	111		15		107		16					

9 日本学生支援機構の奨学金に対する意識（択一）

日本学生支援機構に対する意識について質問した。

表 9-1（延滞者）

(単位:人・%)

区分	情報提供度		返還負担度		返還義務度		回収強化度		督促のきびしさ度		給付制度必要度	
	日本学生支援機構からの情報提供は十分である		現在、奨学金の返還が負担になっている		借りたものなので必ず返さなければならない		回収は強化するべきである		延滞への対応がきびしい		給付型の奨学金が必要である	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	228	5.8%	1,743	43.8%	2,327	58.0%	78	2.0%	679	17.1%	1,422	36.6%
そう思う	1,044	26.5%	1,478	37.1%	1,448	36.1%	307	7.8%	866	21.9%	999	25.7%
どちらともいえない	1,626	41.2%	610	15.3%	190	4.7%	2,443	61.7%	1,712	43.2%	1,267	32.6%
そう思わない	750	19.0%	132	3.3%	33	0.8%	813	20.5%	624	15.7%	140	3.6%
まったくそう思わない	298	7.6%	20	0.5%	15	0.4%	319	8.1%	82	2.1%	61	1.6%
計	3,946	100.0%	3,983	100.0%	4,013	100.0%	3,960	100.0%	3,963	100.0%	3,889	100.0%

表 9-2（無延滞者）

(単位:人・%)

区分	情報提供度		返還負担度		返還義務度		回収強化度		督促のきびしさ度		給付制度必要度	
	日本学生支援機構からの情報提供は十分である		現在、奨学金の返還が負担になっている		借りたものなので必ず返さなければならない		回収は強化するべきである		延滞への対応がきびしい		給付型の奨学金が必要である	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	130	5.2%	349	13.9%	1,662	66.2%	731	29.1%	62	2.5%	580	23.2%
そう思う	827	33.0%	588	23.4%	783	31.2%	762	30.4%	126	5.1%	712	28.5%
どちらともいえない	1,064	42.5%	627	25.0%	51	2.0%	902	36.0%	1,184	47.6%	899	36.0%
そう思わない	376	15.0%	710	28.3%	7	0.3%	88	3.5%	756	30.4%	217	8.7%
まったくそう思わない	108	4.3%	234	9.3%	9	0.4%	26	1.0%	358	14.4%	90	3.6%
計	2,505	100.0%	2,508	100.0%	2,512	100.0%	2,509	100.0%	2,486	100.0%	2,498	100.0%